

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H23実績	H24実績	H25実績	H26計画
① 玉名市体育協会補助金事業	体育協会全体及び種目協会に補助し、競技力を向上させる。	加入団体数	団体	29	29	30	30
② スポーツ推進委員協議会運営事業	スポーツ推進委員協議会への活動補助を行い、活動の推進を行う。	地域スポーツ活動事業数	本	12	13	14	13
③ 熊本県体育協会スポーツ振興事業	県体育協会へ負担金を納め、活動支援を行う。	事業数	本	7	7	7	7
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H23目標	H24目標	H25目標	H26目標
			H23実績	H24実績	H25実績	
1 県民体育祭総合順位	県民体育祭出場全種目の男女総合順位	位	3	3	5	4
			12	8	4	
2 県民体育祭出場者数	出場選手及び役員数	人	409	409	390	350
			357	391	359	

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明	
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし 体育団体の活動支援を廃止した場合、スポーツ団体との調整、指導者の育成やスポーツの普及活動等に支障をきたしスポーツの振興が図れない。	
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、役割が薄れていないか。		
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。		
有効性 (判定) B	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。		<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成 補助金交付団体の開催するスポーツイベントの充実や活性化、更には指導者や審判員の育成を強化する必要がある。
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。		
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。		
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。		
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。		
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。		
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	スポーツ団体のスポーツ活動に関する施策や支援は、地方公共団体の責務として現状のまま維持する。
昨年からの見直し・改善状況【32】	地域総合型スポーツクラブなど地域の状況に則したスポーツ振興を検討している。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	スポーツ団体への支援や団体との連携により、競技スポーツの組織力の強化や指導者の育成を図る。	評価責任者 板倉 英一
------------------	---	----------------